

平成25年度 第1回花巻市文化財保護審議会議

(記録)

日時：平成25年7月11日(木) 午後4時～5時30分

会場：花巻市役所 石鳥谷総合支所 3階3-2、3-3会議室

(会議に先立って、教育長から佐藤勝委員に委嘱状を交付、教委事務局職員を紹介)

----- 次 第 -----

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 協議
(1) 会長の選出
(2) 平成25年度文化財関係事業計画について
- 4 その他
- 5 閉 会

委員11名全員出席

会議の内容(概要)は、以下のとおり

1 開 会 16:00

2 教育長あいさつ(要旨)

残念ながら、4月23日に瀬川会長が急逝した。昭和48年から文化財調査員として約40年間、平成18年からは文化財保護審議会会長として7年、お勤めいただいた。

市政に多大な貢献をいただいたということで、7月5日に佐竹委員と木村委員に市から感謝状を贈呈した。

新たな委員として佐藤勝さんを任命させていただいた。

本日は会長の選出と25年度の文化財関係事業について協議願いたい。

市に無形文化財がないのが気になっている。工芸技術等に候補物件はないのか委員の方々に目配りを願いたい。

今年度も、どうぞよろしく願いたい。

3 協議

(1) 会長の選出

(ここから、文化財保護条例第3条第3項により、菊池副会長が議事進行)

(文化財保護条例第3条第1項により、会長を互選)

(経過省略)

佐藤勝委員を会長に選出

～佐藤勝委員が会長席に席を移り、新会長あいさつ(内容省略)

(2) 平成25年度文化財関係事業計画について

資料2により事務局説明(説明内容省略)

文化財課経営方針について、佐藤課長説明

一般文化財関係事業計画について、小原係長説明

埋蔵文化財関係事業計画について、武係長説明

施設管理について 武係長、小原係長説明

新規指定文化財、指定解除された文化財について 多田補佐説明

○質疑応答(主なもの)

佐藤会長＝課の目標で「2. 民俗芸能の保存と人の定着を図る。」とあるが、人の定着を図るとはどういうことか。

佐藤課長＝市全体で少子高齢化が進んでおり団体によっては存続が難しくなっている。市で鑑賞会事業を行うことで活動を広げていく、あるいは地域のコミュニティ会議等でも鑑賞の場を作っているところもある。それを見た人が民俗芸能をやりたいと思っていただければいいと思っている。

佐藤会長＝継承者の育成ということですね。

高橋(進)委員＝古文書解読会として、御次留書帳の解読に関わっている。第13巻の進捗状況を報告したい。図書館に御次留書帳原本とそのマイクロフィルムが所蔵されている。マイクロフィルムをコピーして会員に配布し解読している。図書館に行ったらトナーがないということだった。図書館で調べたら機械が古くてトナーがすでに廃番になっていることが分かった。図書館で確認した結果、近隣にはマイクロフィルムリーダーがなく、県立図書館で月末の閉館日1日ならコピーされていたということで、図書館職員と会員2人が紙持参で県立図書館に行ってコピーしてきた。御次留書帳は全部で60冊近くある。あと40年かかるといわれている。図書館から文化財課に連絡がきているとは思いますが、今後のこともあるのでよろしくお願ひしたい。

佐藤課長＝状況については承知している。図書館と協議中である。時間をいただきたい。

鎌田委員＝光徳寺の市の指定の文化財がどこにいったかわからないと聞いたがどうなっているのか。1年間たっても見つからなければ、指定を解除する必要があるのではないか。見つかったらまた指定すればいい。これに限らず、個

人所有の文化財については確認が必要ではないか。

佐藤課長＝光徳寺は、今年建て替えの予定と伺っている。落ち着いたら、光徳寺に出向いて確認したい。

大森委員＝ハナショウブの開花状況はどうか。また、管理上問題は発生していないか。

小原係長＝本日現在の開花状況は、花茎数 1, 829、開花数 3, 133 となっており、昨年同月に比較して3割程度、平成23年度に比較すると5割以上増加している。昨年の最終花茎数は1, 682で、すでにそれを超えている。最終的に2, 000を超えると思われる。昨年の最終開花数は3, 634で、最終的に4, 000を超えると思われる。管理上の問題については、指定地以外に雑木が発生しハナショウブの生育に影響がある。また、指定地内に無断で立ち入る人や駐車場にゴミをおいていく人がいる。

大森委員＝無断で立ち入る人について具体的にだれか把握しているのか。

小原係長＝岩手植物の会の人らしいということは聞いている。

大森委員＝管理をしっかりとやっていただきたい。

佐藤会長＝そういう人はいろいろな場所で同様のことをしていると思う。対応を検討願いたい。

小野委員＝瀬川前会長の功績を調査報告書にくわしく掲載した方がいいのではないか。

佐藤会長＝県の埋蔵文化財センター等の組織として調査したものもあるので、瀬川先生を慕っている方々にお任せしてもいいのではないか。

高橋(久)委員＝4月30日の早池峰自然観察会に講師を依頼されたが、勉強不足もあって説明に苦慮した。実際に天然記念物に行ってみる機会があればいい。また、大迫の諏訪神社の桜の調査は所有者の申請があって調査するのか。

岡本副主任＝諏訪神社の千歳桜は地元のコミュニティ会議が中心になって管理している。桜の周辺に成育する杉の木を伐採して日当たりを良くし桜の樹を元気にしたいということで相談があったので、樹木医を紹介し診ていただいたということは伺っている。地元で対処した後に、文化財修理費補助金の助成申請が予想される。

佐藤会長＝個人で回るのは限界がある。事業等で必要であれば担当の方で回るように配慮してほしい。

木村委員＝阿弥陀如来像の説明版について、勝行院を改築する予定なので配置等それに合わせて設置してほしい。

教育長＝国宝と刻まれている石碑がある。

佐藤会長＝制度が変わって現在は国宝ではない。そのあたりも含めた解説・説明版であればいいと思う。

木村委員＝今年度南部たばこ史料館の収蔵資料の整理保存を行うようだが、葉たばこの乾燥倉、土蔵の数とか場所について中村さんが把握していると聞いている。震災で土蔵が被害を受けた。とても背の高い土蔵で薪を焚いて燻していたようである。明治時代にアメリカから入ってきた図面があって、それは板張

りだったが、大迫では土蔵になった。大迫の貴重な産業遺産ともいえる。たばこについて調べるのであればそれについても調べてほしい。

佐藤会長＝平成15～16年ごろ、社会教育課時代に中村さんが調べたはずだ。今年度、たばこについて調べる際に、産業遺産として一部でもデータを取っておけばいいと思う。近世・近年の郷土史として取り上げる必要があれば、取り上げる価値はあると思う。検討願いたい。

佐竹委員＝総合文化財センターの企画展は、どうしてあまり人がこないこの時期なのか。

佐藤課長＝ぐるっと花巻の共同企画展であり、同じ時期に企画展をするために、この時期になる。バスもでるはずである。

菊池副会長＝市指定の文化財の候補として、石鳥谷歴史民俗資料館に傘型連判状がある。それから調査研究として、紫波と石鳥谷の藩境塚について検討してほしい。紫波町の方で研究しているようである。

佐藤会長＝一揆関係はその子孫の感情もあり生々しい。藩境塚については数が少ないものなので現地に行き検討願いたい。紫波町で調査研究しているのであれば紫波町とも連携して行っていただきたい。

埋蔵文化財の関係で、小瀬川の発掘現場は大丈夫なのか。

高橋上席主任＝表土はすべて剥いだ。進捗率は25～30%、作業員は30～40人入っている。今週雨天も多くて若干遅れているが、何とか間に合うと聞いている。

佐藤会長＝7,000㎡もある現場は今までなかった。縄文中期であればかなりのものが出てくると思う。精密な調査をして間に合わなかった場合どうなるのか。それ以外にも消費税の駆け込み需要で個人住宅の発掘も増えている。それから、管理している施設の入館者数も教えていただきたい。市内各施設の状況をお互いに把握しておいて案内等する必要があると思う。南部たばこ資料館の資料を移動するというのであれば、南部たばこ資料館は閉館するのか。

佐藤課長＝南部たばこ資料館の入館者は年に数人しかいない。建物も傷んできているので、資料を総合文化財センターに移して管理する予定である。

佐藤会長＝文化財の指定・解除は昨年度でなく今年度か。

佐藤課長＝文化財の指定及び解除については、3月に保護審査会に諮り、4月の教育委員会議にて議決されたものであることから、今回の資料に掲載したものである。

佐藤会長＝無形文化財については、様々な匠について商工あるいは観光の方で指定されている人もいると思うことから委員の皆様からの情報提供をお願いしたい。

4 その他

その他配布資料の確認

菊池副会長＝八幡獅子踊は活動しているか。

佐藤課長＝現在休止中であるが、指定は解除していないために掲載している。